

ふるさとまつを

さらに進化、未来へつなぐ

平成30年度の当初予算が決まりました。
2年後の東京オリンピック・パラリンピック開催や小松市制80周年、5年後の北陸新幹線小松開業など未来を見据え、北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」を創り上げていきます。

問うるなか
財政課 ☎24・8144

はい。では市の予算の内容を一緒に見ていきましょう。まずは、今年度当初予算の総額と一般会計の内訳です。

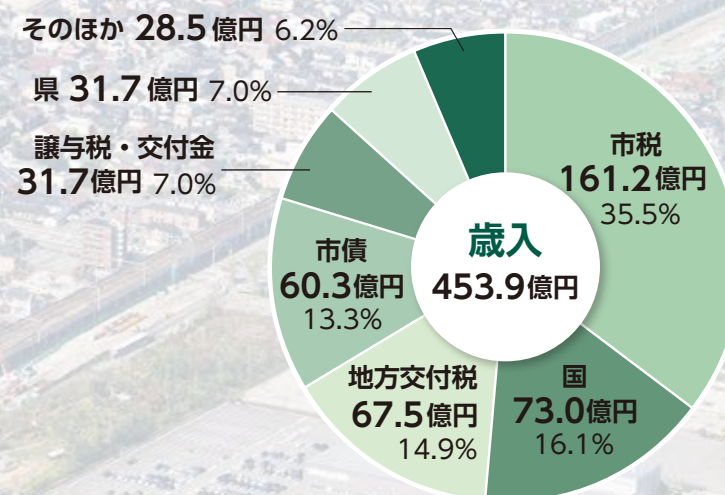
小松市のお金がどのように使われるのか、今年度の予算について教えてください。

小松市イメージキャラクター「カブッキー」

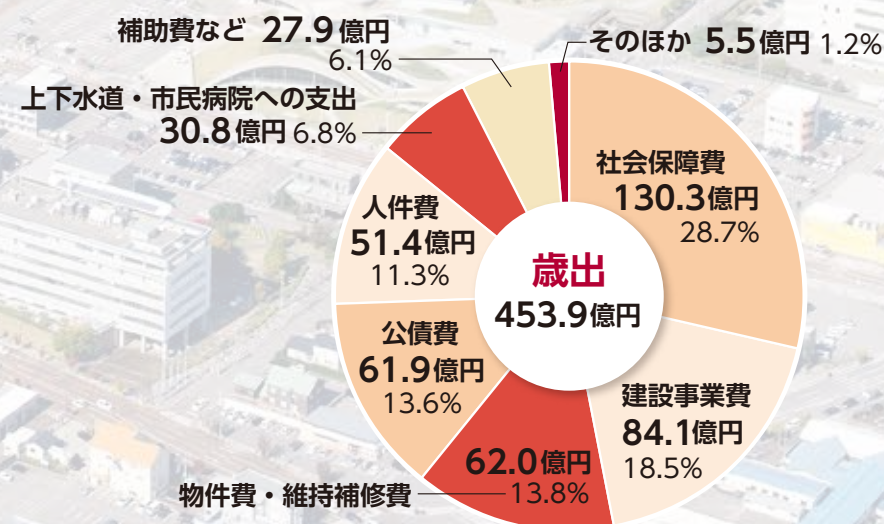
ざいせいさん

平成30年度当初予算
全会計総額 998億2,680万円

一般会計



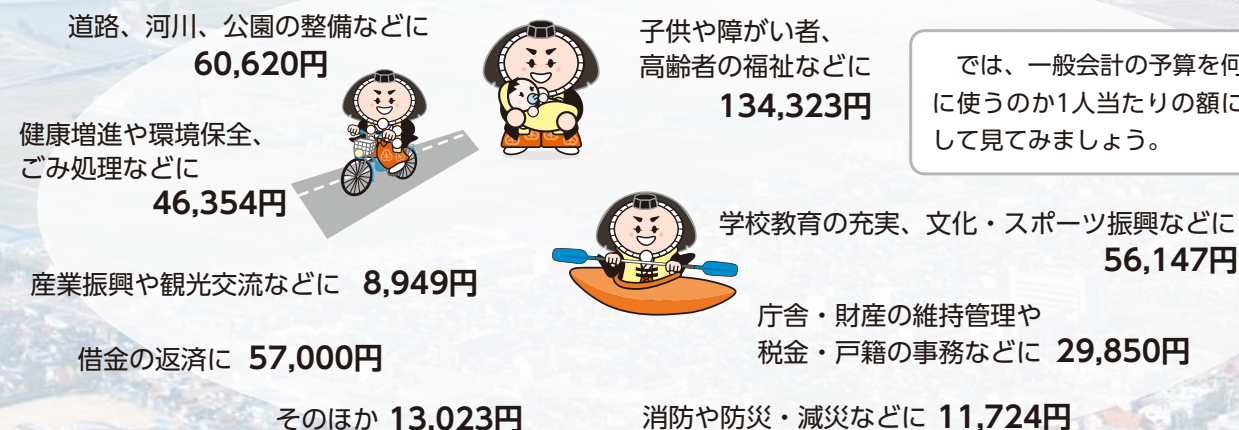
景気の緩やかな回復傾向により、法人市民税は5.4億円増(前年比44.6%増)となり、市税全体では6億円増(前年比3.9%増)となっています。



医療や福祉、子育てなどの社会保障費が4億円増(前年比3.2%増)となっています。誰もが暮らしやすく笑顔いっぱいのまちをめざします。

一般会計

市民1人当たりの予算 417,990円(平成30年1月1日現在人口108,591人)



一般会計のほか、特定の事業を行うために保険料などの収入を集めて運営する「特別会計」と、料金収入を集めて民間企業のように事業収益で運営する「企業会計」があります。
国民健康保険事業費は、財政運営主体の県移行に伴って減少となります。

特別会計

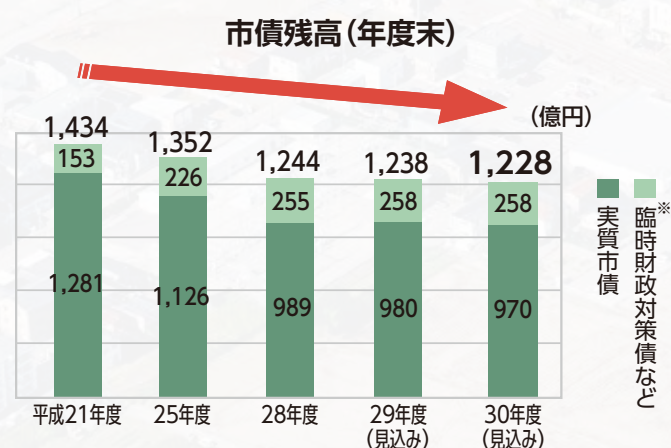
会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	104億4,200万円	▲14.9%
介護保険事業	99億3,800万円	1.3%
公債管理	90億8,910万円	▲0.1%
産業団地事業	450万円	▲98.7%
後期高齢者医療	14億5,600万円	6.1%
合計	309億2,960万円	▲6.0%

なるほど。福祉や医療、教育、防災など、安全・安心な暮らしのためにお金が使われているんだね。

市債残高の状況

市債って借金のことですよね？

そうです。市の市債(借金)の残高は、市債発行の抑制や繰り上げ返済などにより、平成21年度をピークに減少に転じています。
平成30年度末の残高は、前年度より約10億円、9年間で206億円の改善を見込んでいます。
今後も将来負担の軽減や、財政の健全化に努めていきます。



※臨時財政対策債…本来、地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金



▲こまつ看護学校の施設を活用し、公立小松大学末広キャンパスとして整備



▲ボートハウスやトレーニング棟、眺望スペースを備えた（仮称）親水スポーツ公園



▲国道305号と8号を結ぶ幸八幡線の整備で市内外からのアクセスが更に便利に



▲いにしえから培われた小松のものづくりや石文化の歴史を伝える遊泉寺銅山跡記念公園



▲任意予防接種の助成費を拡大し、子どもたちを感染症から守ります

3 温故知新 先人に学び、感謝 そして未来へ

◆2018年は、明治維新(1868年)から150年

- 日本遺産に追加認定申請中！北前船の歴史・文化を発信 ……340万円
- 産業遺産「遊泉寺銅山跡」の遺構をモニュメントとする整備を支援（企業版ふるさと納税を活用） ……1億2,600万円
- 日本遺産「珠玉と石の文化」の交流拠点
九谷セラミック・ラボラトリーの整備を支援
（企業版ふるさと納税を活用） ……7,000万円

4 みんなの笑顔いっぱい！ 誰にでもやさしいまちへ

◆まちにやさしい

- 「はつらつ環境整備助成金」を拡充し、町内会の除雪機械購入・借り上げの補助率アップ ……2,650万円
- 消防団全18分団に除雪機械を配備し、通学路・生活道路の確保 ……2,360万円

◆ひとにやさしい

- 8月診療分から、障がい者医療費助成を拡大（精神障がい者1級追加、所得制限緩和） ……2億7,770万円
- 東部児童センター改修（バリアフリー化、LED化など） ……5,690万円
- 子どもの予防接種助成の拡大（インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス） ……2,300万円
- わが家の防災ファイル・洪水ハザードマップ更新（英語版の作成） ……3,520万円

◆地球にやさしい

- エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設（7月稼動） ……24億3,310万円
- クリーンセンター、リサイクルセンター、最終処分場の管理運営 ……4億9,447万円

5 市民から信頼される市役所へ

◆業務を改善し、節減効果を還元

- スマートフォン・タブレット端末を活用した市税・保険料の支払いを可能に（10月～） ……440万円
- 特別職給与の減額（給料月額：市長△15%、副市長△10%） ……▲354万円

1 人生100年時代を見据えた ひとづくり

◆地方創生！新しい若者の流れを生み出す

- 公立小松大学の末広キャンパス・栗津キャンパスの施設整備（2019年秋に完成） ……6億8,530万円
- 公立小松大学の運営費（財源は地方交付税と入学金） ……7億5,120万円

◆子どもたちの夢とまちのビジョンを育む

- 2021年4月の義務教育学校「松東みどり学園」開校に向けた校舎整備（実施設計など） ……3,500万円
- ALT（外国語指導助手）を全中学校に配置し、国際社会で活躍できる人材を育成 ……4,970万円
- 2020年必修化に先駆けたプログラミング教育を実施 ……100万円

◆ふるさと、国際舞台で躍動するアスリート

- 桜木体育館を大規模改修し、武道の拠点に ……2億6,000万円
- 前川と梯川の合流地点に（仮称）親水スポーツ公園を整備 ……3億3,360万円

◆幼児からシニアまで多様な学びと新たなチャレンジ

- 地域で活躍するひとづくり、「こまつ市民大学」を9月開校 ……800万円
- 芦城センター改修（空調・エレベーター改修、LED化など）の実施設計 ……1,000万円

2 2020年、2023年に向けて 北陸のダントツのまちへ

◆人びとと文化が行き交う南加賀のターミナルへ

- 能美市と連携し、鉄道や路線バスの利用促進 ……450万円
- 北国街道（龍助町～西町間）の無電柱化 ……9,000万円
- 小松駅や周辺施設の利用者が集う「こまつ820ステーション」開設 ……400万円
- 学生と市民の文化交流の場「町家ハウスRyusuke」開設 ……320万円

◆まちの成長を支え、人びとが集まるまちへ

- 開湯1300年！（仮称）栗津温泉交流広場の整備でにぎわい創出 ……1億5,500万円
- 開設30周年、明峰駅前広場をリニューアル ……3,000万円
- 幸八幡線の整備で市内外からのアクセス向上 ……2億円

カブッキー衣装コンテスト
フローラル部門グランプリ
「さくらと花菖蒲の着物」

NEXT 10年ビジョンの実現をめざし、
まちの総合力とブランド力を一層高めていく
今年度の主な施策を紹介します。

まちの総合力をアップ！

みんなの暮らしの
充実やまちの発展の
ために、市の予算を
活用していきます。

たくさんの人が集
まるおもしろいまち
になりそうで、ワクワク
してきましたよ。

